

笑顔輝く せたっこ通信

令和8年10月
大津市立瀬田幼稚園



令和8年度大津市立瀬田幼稚園運動会

皆さんにご心配頂いた天気予報の「雨」マーク。連休中はずっと天気予報を見ていましたが、傘マークは消えず…ただ、希望は雨が上がる時間が少しずつ早くなってきていること…しかし運動会を予定していた日の翌日は確実に晴マーク。子どもたちのこれまでの頑張りをぐずついた天気の中で見ていただくよりは晴天の中で生き生きとした姿を見てもらった方がよいのでは…という思いもあり、私の中では8割延期にした方がいいかな？と思っていました。

運動会の前日に、子ども達と一緒につくる運動会！！大人だけで開催か延期かを決めるのではなく子ども達にも伝えようとあお組の子ども達に「今はとってもいい天気なんだけど明日はいっぱい雨が降るみたいなん…」と言うと「じゃ！！晴れるように今からてるてる坊主をつくるわ！！」と子ども達はとても前向きでした。そんな子ども達に運動会の延期を伝えることができませんでした。

できあがったてるてる坊主を「ここやったらお日さまに見えるかな？」と太陽の方向を確認しながら飾ってくれていたと担任から聞きました。

保護者の方も「家でてるてる坊主をつくった」と言ってくださったり一緒に天気予報を確認してくださったり、開催に向けて大きな支えとなりました。

朝方の大雨と6時頃の大雨にやると決めただけ本当にこの判断がよかったのかと心が揺らぎましたが、子ども達の思いが雨雲を吹き飛ばしてくれました。そして、雨が上がってすぐにバケツとスポンジを持って駆けつけてくださった保護者の方や「何かお手伝いありますか？」と声を掛けてくださった保護者の方、登園して一番に「今日、運動会でよかったです。」と多くの保護者の方や地域の方に声を掛けていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。このように温かいご支援を頂きながら開催できたことに改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

「運動会やるよ。」と5歳児がポスターを掲示し、自信たっぷりのバルーンやスカーフの演技、一生懸命走るリレーをずっと憧れの眼差しで見ていた3歳児や4歳児と共に運動会をつくってきました。5歳児としての自覚をもって他学年に関わったり、自分たちで片付けをしたりする日々の姿も運動会で見ていただくことができたことと思います。また、3学年のプログラムを通して、それぞれの年齢の発達やこれまでの育ちを知って頂けたと思います。運動会を経験した瀬田幼稚園の子ども達全員の誇らしい笑顔が次の活動につながっていきます。



瀬田学区「つながりびプロジェクト」

昨年度、幼児期にどのような経験をし、小学校の学びにつなげていくのかを考え「架け橋期プログラム」を作成しました。今年度は作成したプログラムを活用し、実践をしていきます。既に小学校とは5年生だけでなく、1年生の音読劇に招待してもらったり、小学校の運動会の練習を見に行ったりしています。そして、5歳児は昨年度の『つながりプロジェクト』を引き継ぎ、レイモンド瀬田こども園さん、レイモンド大津保育園さんと交流をし、「知っている友達」を増やすことで、安心して瀬田小学校に入学ができるように考えています。

1回目は10月29日(木)にレイモンド大津保育園さんと交流をします。2回目は11月25日(水)に3園で交流をします。子どもたちの様子は次号でお伝えしますね。



「速く走れるようになりたい！」



運動会の前に5歳児は繰り返しリレーをするうちに「速く走りたい!!」という思いを高めていきました。どうしたら早く走れるか考えたりお家の人から教えてもらったことを伝え合ったりしていました。ある日、小学校の校長先生に「運動会に見に来てね」と手紙と一緒にお知らせに行き、校長先生から「毎日頑張っているね。いつも応援しているよ」と声を掛けてもらいました。子ども達は「速く走りたいねん」と校長先生に伝えると「そうか。じゃ、今日、小学校で一番速く走れる先生に教えてもらおうか」と言ってくださり、その日の午後に小学校の大野先生が幼稚園に来てくださることになりました。校長先生に運動会の手紙を持って行った子どもたちからクラスの皆にそのことを伝えると大喜びで「大野先生ってどんな先生かな？」と心待ちにしていました。

校長先生とのやりとりで、「大野先生ってどんな先生？」と質問すると「とっても背の高い先生だよ。」と教えてもらっていたのでクラスでも「大野先生は背の高い先生やで。」と伝える姿がありました。

大野先生から腕を大きく振ることや少し前に体を倒すことやつま先を使って走るといいことを教えてもらおうと直ぐに走り出し、あっという間に子どもたちの走り方が力強くなりました。何より、子ども達自身が自分の走り方の変化に気付いていたと思います。

「やってみたい」思いをもった時に、どのような経験をしていくかを考え、瀬田幼稚園が大切にしている人との関わりを通して子ども達の満足感やもっとやってみたいにつなげています。



この通信は大津市のホームページからも見ることができます。

